

消防ヒヤリハットデータベース事例回答シート

【事故概要について】

1. 事故・ヒヤリハットの別	事故
2. 体験した事例の名称	他隊使用のホースカー牽引中に転倒し、負傷した事例
3. 体験した事例の中心的要素	訓練中、ホースカーを牽引してタンク車右側から車両前に差し掛かった時、左右確認のため徐行及び右手で安全確認をしようとした際、ホースカー引き手の左手がえんぴ部から離れ、体のバランスを崩して転倒、ホースカーえんぴ部が左足に落下し負傷。
4. 体験した事例の原因・理由	自隊所有の資機材ではなく、他隊の資機材を借用したため、事前確認は実施したが、特性や他隊ホースカー自体のくせ(タイヤ空気圧等)を十分に把握せずに使用したこと、また、自分の体力、技術以上の動きをしてしまったことだと考えます。

【体験した事例の直接的原因について】

1. 体験した事例の直接的な原因	行動の意志決定に問題があった。
------------------	-----------------

【体験した事例について】

1. 発生日時	平成27年10月14日 午後3時頃
2. 発生した当時の天候	晴れ
3. 発生した活動現場	屋外：消防署敷地内(地上)
4. 体験した事例の種類	回答者が、自分自身で負傷した。
5. 事故の程度(ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度)	重傷の怪我
6. どのようなことが起きたのか(起きそうになったのか)	その他:ホースカーを牽引中にバランスを崩して転倒、ホースカーえんぴ部が左足に落下し負傷。
7. 事例体験時の活動	演習訓練、[火災]
8. (7の活動中)どのような作業中に発生したか	ホース延長訓練
9. 同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。	初めて体験した

10. ヒヤリハット体験当事者の属性（回答者は当事者A）

○当事者A	年齢[41]歳、勤続年数[21]年、現場経験年数[21] 年、階級[消防司令補] 同様の活動 [頻繁]、任務 [隊員]
○当事者B	年齢[24]歳、勤続年数[1]年、現場経験年数[1] 年、階級[消防士] 同様の活動 [頻繁]、任務 [隊員]
○当事者C	年齢[41]歳、勤続年数[21]年、現場経験年数[21] 年、階級[消防司令補] 同様の活動 [頻繁]、任務 [車長]
○その他(当事者が4人以上の場合)	

11. 事例発生時の経過。

	誰が(何が)	なにをした	その他・備考など
経過1	当事者C	訓練開始下命	
経過2	当事者A	車載積中のホースカーロックレバーを解除	
経過3	当事者A	タンク車からホースカーを降ろす作業	
経過4	当事者B	ホースカーを下ろす当事者Aの補助	
経過5	当事者A B	2人でホースカーを引き始める	当事者Aが先頭(えんぴ側)
経過6	当事者A	車両前で左右確認のため徐行時、転倒	
経過7	当事者A	ホースカーえんぴ部が左足に落下	
経過8			
経過9			
経過10			
経過11			
経過12			

【その事例発生時の状況について】

○事故の場合 :事故が起きたのはどうしてだと思うか？

○ヒヤリハットの場合:ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？

資機材の操作がうまくいかなかった。

○心理・体調について

a. あせりを感じていた

・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。	はい
・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。	いいえ
・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。	いいえ

b. 注意力が欠如していた

・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。	はい
・活動終息(鎮火等)や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。	いいえ
・体調不良や疲れにより注意力を欠いた。	いいえ

c. 経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	いいえ
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	はい
・活動に対する経験が不足していた。	いいえ

d. 心身の不調があった。

・体調が悪かった。	いいえ
・悩み事があった。	いいえ

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があった。	いいえ
・装備・資機材の使用方法が誤っていた。	いいえ
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	はい
・必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

○活動環境について

f. 障害物や自然環境（雨・濃煙）によって視界がさえぎられた。

・障害物（建物等）のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ
・特異環境（煙、暗闇、降雨等）のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ

g. 行動しにくい環境だった。

・狭隘な場所であった。	いいえ
・暑かった（寒かった）。	いいえ
・野次馬が多かった。	いいえ
・現場周辺の地理に不案内だった。	いいえ

h. 足場が悪かった。

・足元が躓いたり滑りやすかった。	いいえ
・足元の強度が不足していた。	いいえ

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった（適切な指示を与えられなかった）。

・活動指示が得られなかった。（無線が通じない等。）	いいえ
・指示内容に誤り・偏りがあった。	いいえ
・指示内容が実施困難であった。（周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。）	いいえ

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・隊員の連携が不十分だった。	いいえ
・隊員が不足していた。	いいえ

○その他

l. その他の理由があった。

借用資機材の仕様認知度に甘さがあった。（ホースカーの種類、形状、使用年数等の違いの認識）
--

【事故発生後の取り組みについて】



○注意力欠如、焦り等の対策について

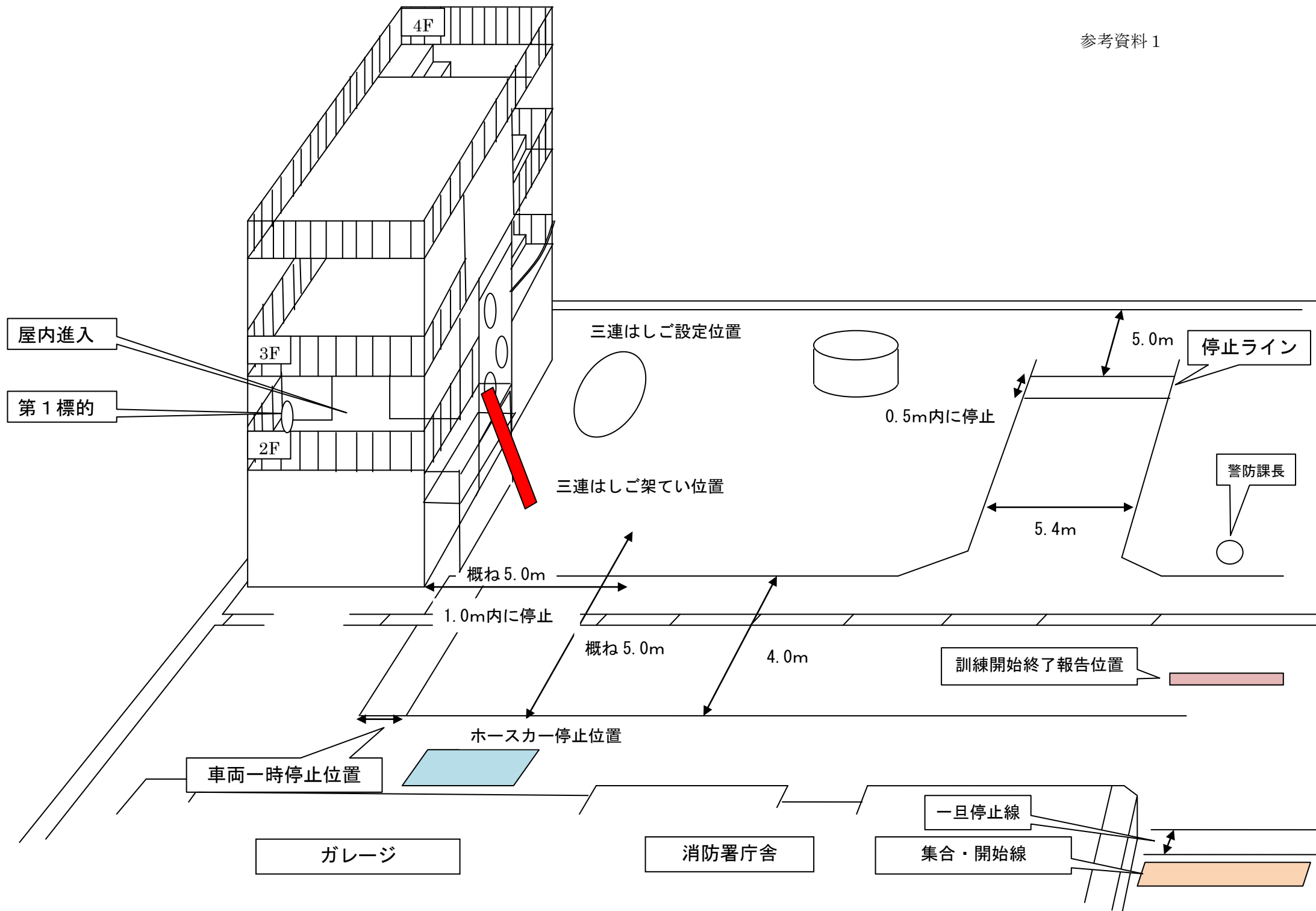
実践訓練かつ、スピードを求めた訓練に集中し、安全、確実の欠如に至った。もう一度、安全に確実な手技を身に付けた後、迅速を求める活動、訓練を実施する。

○装備・資機材の対策について

各車両に積載しているホースカーは、同等品と言えど全く同じではない事。各部署での扱い方で、くせのある資機材になる事を改めて認識しなければならないと同時に、借用する場合には、実践訓練に入る前に、念入りに確認をする、使用者に資機材の状態を聞く等、対策を講じなければならない。

○活動環境の対策について

○指揮・情報伝達の対策について





ホースカー 50kg
 ホース空 1本 6kg
 8本積載 48kg

総重量 約100kg

① 左手でえんぴ部を保持



えんぴ部

② タンク車前徐行中に
左手が後方に滑った状況



③ バランスを崩し転倒



④ ホースカーえんぴ部が落下

